

参議院議員 選挙特集

私達の主権を反映するための選挙をますます清く正しく向上するための資料として本特集号を編集します。

参議院議員選挙について

投票率 郡内三位
県内五位

去る六月十三日に公示され七月七日に執行された参議院議員選挙については、有権者の皆さんの御協力により、無事終了することができました。結果は郡内で第三位の成績を納めることができました。このことは、住民に政治意識が高まってきたことと思っております。しかし、県選挙の発表によれば、双葉郡の投票率は七八

・六二%の県最低にあり、最高の岩瀬郡は九六・七二%でありました。町村別の投票率では、県下八十一町村中、大熊町は五十二位であります。町内の選挙結果は別表の通りであります。従って今回表に彰される地区は、知事選挙の時より投票率が上昇した下野上二区、熊川区の二地区のみであります。



開票所風景 投票券は一枚一枚丹念に計算されて行く

大熊町における全国区・地方区の無効となつた投票内訳

| 無効となつた事由 | 全国区 | 地方区 |
|---------------------|-----|-----|
| 候補者でない者の氏名を記載したもの | 73 | 96 |
| 2人以上の候補者の氏名を記載したもの | 33 | 1 |
| 候補者の氏名の外他事を記載したもの | 2 | 2 |
| 候補者の何人を記載したか確認し難いもの | 23 | 5 |
| 白紙投票 | 40 | 15 |
| 単に雑事を記載したもの | 28 | 13 |
| 単に記号、符号を記載したもの | 7 | 4 |
| 合計 | 206 | 136 |

地方区 (大熊町からの得票数)

| 当落 | 候補者の氏名 | 党派 | 得票数 |
|----|--------|-------|-------|
| 次 | 和田敬久 | 日本社会党 | 769 |
| 当 | 井筒光雄 | 民主社会党 | 180 |
| 当 | 鈴木省吾 | 自由民主党 | 1,655 |
| 当 | 佐久間勇 | 日本共産党 | 109 |
| 当 | 松平勇雄 | 自由民主党 | 829 |

第5投票所が投票率最高 (女子より男子の方が2.30%多く、第5投票所では女子が男子より5.11%多い)

| 投票所名 | 有権者数 | | | 投票者数 | | | 棄権者数 | | | 投票率 | | | 40年7月参院選投票率 | | |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-----|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|
| | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 | 男 | 女 | 計 |
| 第1投票所(中屋敷分校) | 45 | 48 | 93 | 40 | 44 | 84 | 5 | 4 | 9 | 88.89 | 91.67 | 90.32 | 80.39 | 79.59 | 80.00 |
| 第2投票所(大野小学校) | 449 | 491 | 940 | 364 | 404 | 768 | 85 | 87 | 172 | 81.07 | 82.28 | 81.70 | 81.06 | 75.45 | 78.06 |
| 第3投票所(熊町小学校) | 501 | 546 | 1,047 | 427 | 444 | 871 | 74 | 102 | 176 | 85.23 | 81.32 | 83.19 | 82.88 | 77.04 | 80.53 |
| 第4投票所(夫沢分校) | 300 | 316 | 616 | 255 | 240 | 495 | 60 | 61 | 121 | 85.00 | 75.95 | 80.36 | 83.27 | 78.77 | 80.87 |
| 第5投票所(大熊町公民館) | 753 | 892 | 1,645 | 659 | 802 | 1,461 | 94 | 90 | 184 | 87.52 | 89.91 | 88.81 | 83.76 | 87.87 | 85.98 |
| 合計(大熊町) | 2,048 | 2,293 | 4,341 | 1,745 | 1,934 | 3,679 | 303 | 359 | 662 | 85.21 | 84.34 | 84.75 | 83.16 | 80.86 | 81.93 |

部落別投票率では小良浜が最高 (下野上1区、熊川は知事選より上昇)

| 部落名 | 投票率 | | | 43年4月県知事選投票率 | 部落名 | 投票率 | | | 43年4月県知事選投票率 |
|-------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|-------|-------|--------------|
| | 男 | 女 | 計 | | | 男 | 女 | 計 | |
| 中屋敷 | 88.89 | 91.67 | 90.32 | 95.50 | 大川原 4 | 83.33 | 94.00 | 88.77 | 92.07 |
| 野上 1 | 78.18 | 80.32 | 79.31 | 84.21 | 熊 1 | 75.00 | 74.03 | 74.50 | 86.47 |
| " 2 | 93.61 | 71.42 | 81.55 | 89.42 | " 2 | 87.07 | 85.48 | 86.18 | 89.84 |
| " 3 | 78.57 | 87.80 | 83.13 | 86.74 | 町 | 78.88 | 76.74 | 77.77 | 87.97 |
| " 4 | 83.33 | 91.78 | 87.76 | 93.18 | 小良浜 | 93.33 | 82.75 | 88.13 | 98.33 |
| 下野上 1 | 88.15 | 88.60 | 88.38 | 87.66 | 熊川 | 82.75 | 67.46 | 74.79 | 70.04 |
| " 2 | 87.85 | 83.45 | 85.36 | 87.77 | 野馬形 | 89.18 | 91.89 | 90.54 | 97.01 |
| " 3 | 82.60 | 92.23 | 87.69 | 92.30 | 小入野 | 70.00 | 84.61 | 77.45 | 91.48 |
| " 4 | 86.50 | 93.41 | 90.44 | 91.07 | 大和久 | 85.71 | 86.13 | 85.92 | 94.81 |
| " 5 | 83.92 | 83.94 | 83.93 | 84.55 | 夫沢 1 | 84.61 | 81.66 | 83.03 | 84.25 |
| 大川原 1 | 69.38 | 53.44 | 60.74 | 69.90 | " 2 | 80.00 | 71.28 | 75.26 | 85.16 |
| " 2 | 68.42 | 55.73 | 61.86 | 77.39 | " 3 | 85.18 | 82.02 | 83.52 | 89.75 |
| " 3 | 78.37 | 85.71 | 81.94 | 92.85 | | | | | |

全国区、地方区、各党派別得票数 (自民、社会、共産、民社、公明の順)

| 党派 | 全国区 | | | 地方区 | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 得票数 | 比率 | 全国の比率 | 得票数 | 比率 | 全国の比率 |
| 自民 | 2,002 | 57.7 | 46.7 | 2,484 | 70.1 | 44.9 |
| 社会 | 724 | 20.9 | 19.8 | 769 | 21.7 | 29.2 |
| 公明 | 424 | 12.2 | 15.4 | | | 6.1 |
| 民社 | 88 | 2.5 | 6.0 | 180 | 5.1 | 6.9 |
| 共産 | 65 | 1.9 | 5.0 | 109 | 3.1 | 8.3 |
| 諸派 | 12 | 0.3 | 0.4 | | | 0.2 |
| 無所属 | 156 | 4.5 | 6.7 | | | 4.4 |
| 合計 | 3,471 | 100.0 | 100.0 | 3,542 | 100.0 | 100.0 |

福島海区漁業調整委員会 委員選挙について

福島海区漁業調整委員会委員の選挙による委員の任期は、本年八月十四日をもって任期満了となるので、七月二十二日告示、八月六日投票の日程で選挙が執行されます。この選挙は、漁業者又は漁業従事者のみに限られますので、漁業関係者の協力をお願いします。

全国区では県出身山下春江候補が最高

県外出身候補 小林国司が最高、石原、青島両候補も70—80票台の得票

○ 全国区 (大熊町からの得票数)

| 当落 | 候補者の氏名 | 党派 | 得票数 | 当落 | 候補者の氏名 | 党派 | 得票数 | 当落 | 候補者の氏名 | 党派 | 得票数 |
|----|----------|----|---------|----|--------|----|---------|----|--------|----|--------|
| 当 | 豊田 雅孝 | 自 | 6, | 当 | 山下 春江 | 自 | 575, | 当 | 大松 博文 | 自 | 16, |
| 当 | 島村 義雄 | 自 | 12, | 当 | 藤原 房雄 | 公 | 313,574 | 当 | 福田 繁 | 自 | 5, |
| 当 | まお 文太郎 | 自 | 63, | 当 | 田中 一 | 社 | 23, | 当 | 賀陽 邦寿 | 無 | 5, |
| 当 | 大谷 藤之助 | 自 | 4, | 当 | 川野 三 | 自 | 1, | 当 | 小笠原 貞子 | 共 | 5, |
| ▲ | 大中 村順造 | 社 | 3,428 | 当 | 向井 長年 | 民 | 56, | 当 | 天坊 裕彦 | 自 | 3, |
| ▲ | 石井 貞夫 | 諸 | 2, | ▲ | 佐藤 三蔵 | 自 | 64,849 | 当 | 青島 幸男 | 無 | 73, |
| ▲ | 和田 静夫 | 社 | 7, | ▲ | 有田 正憲 | 無 | 3, | 当 | 上田 哲 | 社 | 5,538 |
| ▲ | 石原 慎太郎 | 自 | 83, | ▲ | 青山 雅彦 | 諸 | 0, | 当 | 北村 みつる | 社 | 7, |
| ▲ | 鈴木 強 | 社 | 16,622 | ▲ | 今東 光 | 自 | 11, | ▲ | 森下 正則 | 無 | 0, |
| ▲ | たまき たけお | 自 | 8, | ▲ | 竹谷 光雄 | 無 | 0, | ▲ | あくね 登 | 社 | 0, |
| ▲ | 長田 裕二 | 自 | 123, | ▲ | 若林 正武 | 自 | 68, | ▲ | 小林 武也 | 社 | 35,842 |
| ▲ | 横山 ノック | 無 | 26, | ▲ | 松島 俊之 | 自 | 10, | ▲ | たぶち 哲也 | 社 | 20, |
| ▲ | 高橋 正勝 | 無 | 2, | ▲ | 中峠 国夫 | 無 | 2, | ▲ | 森 崎 ぞう | 無 | 0, |
| ▲ | 鈴木 武一 | 無 | 6,393 | ▲ | 近藤 天 | 自 | 3, | ▲ | 岩間 正男 | 共 | 57, |
| ▲ | 永野 鎮雄 | 自 | 81, | ▲ | 石木 しげる | 無 | 20, | ▲ | 亀井 善彰 | 自 | 30, |
| ▲ | 田口 長治郎 | 自 | 8, | ▲ | 森八 三 | 自 | 15, | ▲ | 源田 実造 | 自 | 13,382 |
| ▲ | 安永 英雄 | 社 | 3, | ▲ | 加藤 昭 | 公 | 0, | ▲ | 二宮 文造 | 公 | 0, |
| ▲ | 塩崎 じゆん | 自 | 2, | ▲ | 上田 シヅ | 社 | 19, | ▲ | 大林 平八郎 | 自 | 2, |
| ▲ | 佐藤 しんじろう | 社 | 566,150 | ▲ | 三浦 光稔 | 自 | 9,897 | ▲ | 三原 藤助 | 自 | 38, |
| ▲ | 高山 恒雄 | 民 | 12, | ▲ | 内田 善利 | 公 | 2, | ▲ | 鈴木 一弘 | 公 | 54,983 |
| ▲ | 高迫 水久 | 自 | 11, | ▲ | 野々山 一三 | 社 | 4, | ▲ | 横川 正市 | 公 | 1, |
| ▲ | 沢田 実 | 公 | 14,411 | ▲ | 上田 しん | 無 | 2,769 | ▲ | 長谷川 仁 | 自 | 133, |
| ▲ | 佐々木 励 | 無 | 4, | ▲ | 藤原 道子 | 社 | 5,425 | ▲ | 渡辺 武 | 共 | 3, |
| ▲ | 上林 繁治郎 | 公 | 4, | ▲ | 末松 久美 | 諸 | 1, | ▲ | 西郷 隆盛 | 諸 | 4, |
| ▲ | 日高 英一 | 自 | 77, | ▲ | 江藤 功智 | 自 | 46, | ▲ | 杉本 一夫 | 諸 | 5, |
| ▲ | 中本 村正雄 | 民 | 20,521 | ▲ | 岡崎 茂 | 自 | 0, | ▲ | 小長 井 | 諸 | 0, |
| ▲ | 大小 西林国司 | 自 | 418,157 | ▲ | 長屋 秋子 | 自 | 29, | ▲ | 山陰 探 | 諸 | 0, |
| ▲ | 中 西 幸男 | 無 | 3, | ▲ | 三重 宗雄 | 自 | 7, | ▲ | 新堀 新夫 | 無 | 1, |
| ▲ | 塩出 啓典 | 公 | 1, | ▲ | 三木 忠男 | 自 | 26, | ▲ | 伊藤 新久 | 無 | 2, |

注 当落欄中、当は当選者、次は次点、空白は落選したが法定得票数を得たもの、▲は供託金没収、得票数の内、小数点以下は同一の氏、又は名を按分されたため生じた端数票



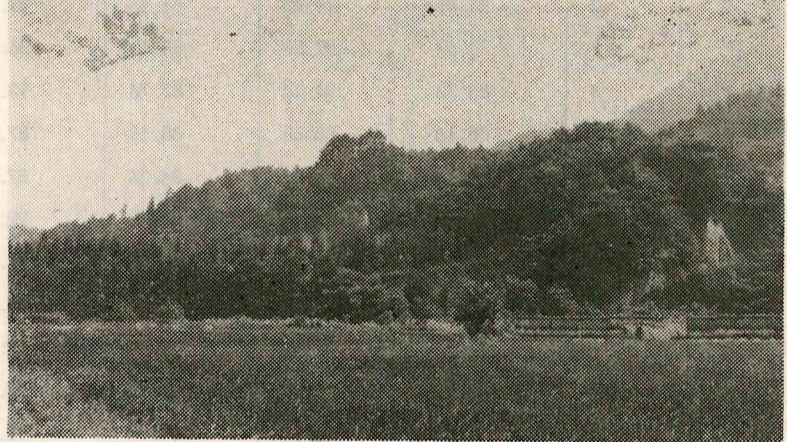
明治百年記念 大熊町歩こう会

成功のうちに終る 志賀町長さん一番乗り

夜来の雨もあがった7月31日午前五時二十分。この日所要のため福島出張予定の町長さんが普段着のまゝバイクを飛ばして役場に乗りつけた。宿直の堀川巨夫君がびくつきしてはねおきる。

鼓笛隊の子どもたちが空を見上げながら集まって来る。鈴木一雄議長さん、金沢頭吉議員さん、渡部議員さん、氏家茂大野郵便局長さん、大武先生、松本幸一先生等々ぞくぞくと野上から、下野上から、熊区、熊川からとつめかけ役場庭に群がった。

下宮和子さんが孫の手を引いて来るかと思えば、小野ふみ



右端の崖は蛇ばみが淵 左につらなる台地は野上館跡

野上の里より館沢一帯を望む



大熊町みんな 歩く会

今回は8月18日(日)大熊駅前向広場から大蔵和牛繁殖センターまで。午前六時集合の予定です。



熊川の主争い

ぬしあらし 久麻川民話集より

その昔、標葉郷野上の里に中組の次郎太という名主が住んでいました。

ある真夜中のこと物の気配にフト目をさました次郎太は、淡い灯火の光を受けて、枕元にシヨンボリとうなだれる妙齡の女の子の姿を見つけた。くりしてとびおきました。

女の子は静かに手をついて「真夜中にお騒がせしましてすみません。実は、私は蛇はみが淵に住む熊川の下の流に住む水くもがだんだんと勢力を伸ばし、とうとう明晩丑三ツ時蛇はみが淵で主争いの果し合いをすることになったのです。つきましては、明晩の丑三ツ時になったら淵のほとりにそと来て、争いが始まりましたら大声で、「おれは中組の次郎太だぞ！」と呼びわって加勢していただけないでしょうか。このことをお願いに参ったのです」と頭を垂れました。

「よいとも、よいとも、きつと出かけて行って加勢してやるから」人のよい次郎太は力強くうなづいて励ました。

妙齡の美女は、うれしそうになんべんもおじきをして帰って行きました。

約束の夜がきました。その夜は宵のうちからシトシトと雨の降る真暗な晩でした。

次郎太は蓑笠を着けてただひとり、たい松も持たずに手さくさくして蛇はみが淵に急ぎました。

もう戦いは始まったのでしよつ、淵はドゥッ、ドゥッと波が逆まき、水柱が立ちのぼり、おりから雨あしが激しくなつたと思ふまもなく、ドンッ降りの中から激しい雷の音がすらすらときました。

「ビカッ！ビカッ！一瞬あたりを照す青白い稲妻の中に、上になり下になり死力をつくして戦っている大蛇と水くもの白い腹と黒い背がもつれあつて浮かび出ます。

今だ！と思った次郎太は必死の声をあげしほって、「俺！俺らあ！」と叫ぼうとしたが、口をバクバクするばかりで声になりません。

頭の髪はあまりの恐ろしさに一本一本逆立ち、体は全身どりはだだだっカカタとふるいがとまりません。

無我夢中で地をはうように川ぶちを逃れ出た次郎太は、我が家の軒下に辿りつくくらい気が失ってしまいました。

やがて夜はしららと明けはじめ、夜来の雨もおさまった。ボトリ、ボトリと藁屋根にしみた雨だれのきをうらうらとしました。

したたれ落ちる雨だれを口にかけてハッ！と我にかえった次郎太は、恐る恐る再び蛇はみが淵に引き返りました。

水嵩がまして濁流のうずまき淵には白い腹を上向きにした大蛇が、うらめしそうな眼をむいて死んでおり、傍には勝ち誇った水くもが黒い大きな頭の中にランランと眼を光らしていました。

そしてこれ以来水くもが熊川の主になりました。

このことがあってから次郎太の家はだんだんと家業がおとろえてしまいました。

野上の里人は、何代、何十代かにわたって親から子へそして孫へと熊川の主争いの物語りをかたり継いできました。里人は物語の終りにはきまじったげにつけ加えるのでした。

「昔、館沢には、片倉主水正とどう人がお城を構えていたのだと、それが熊川下流の熊右エ門という人と戦って片倉側が負けて熊氏がさかえたことが主争いその話になったではないか。

なんでも次郎太の家は鈴木金蔵さんの前の畷垣にあつたらしいというが……」

事実、平安京の頃、藤原氏の時代から、熊川の下流には熊氏、熊川氏の両家が長く勢力を張っていたのです。